

2021年5月期 決算説明会

(証券コード：7713)

 シグマ光機株式会社

2021年7月16日(金曜日)

目次

1. 2021年5月期 決算概要

執行役員 管理本部長兼経理部長 石井 康之

2. 2022年5月期 事業戦略 及び 通期見通し

執行役員 管理本部長兼経理部長 石井 康之

3. 2022年5月期 営業戦略

営業本部長 森 政之

4. 質疑応答

世界経済は、各国の政策対応等の下支えにより期後半から回復の兆し。
国内・アジア地域を中心に産業分野向けで回復の兆しが見られ、総じて堅調に推移。

【百万円未満 切り捨て】	19/5期	20/5期	21/5期		構成比	サマリー
	累計実績 (前年同期比)	累計実績 (前年同期比)	修正予算 (前年同期比)	累計実績 (前年同期比)		
売上高	9,047 (+1.0%)	8,493 (▲6.1%)	8,485 (▲0.1%)	8,765 (+3.2%)	100.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・教育機関、公的機関向けは堅調に推移 ・産業分野向けは、国内・アジア地域では、FPD・半導体等を中心に回復の兆し ・米国は持ち直しの動き、欧州は弱含み推移
営業利益	1,123 (▲21.6%)	711 (▲36.6%)	820 (+15.2%)	983 (+38.2%)	11.2%	<ul style="list-style-type: none"> ・製品ポートフォリオ改善により粗利率持ち直し ・過年度の設備投資による減価償却費の増加 ・営業活動の制限等により販売管理費が減少
経常利益	1,246 (▲17.9%)	840 (▲32.6%)	950 (+13.1%)	1,152 (+37.2%)	13.2%	
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	828 (▲17.7%)	595 (▲28.1%)	670 (+12.5%)	822 (+38.1%)	9.4%	
1株当たり 四半期純利益	116円93銭	84円10銭	94円60銭	116円15銭	—	
平均為替レート						
1USD	110.69円	109.10円	105.00円	106.17円		
1EUR	128.43円	121.14円	120.00円	123.73円	—	
1人民元	16.53円	15.66円	15.00円	15.63円		
1SGD	82.08円	79.47円	75.00円	77.65円		

2 セグメント別売上高・営業損益(連結)

売上高

【百万円未満切り捨て】

製品区分	19/5期	20/5期	21/5期		
	累計実績	累計実績	累計実績	構成比	前年同期比
要素部品事業	7,310	7,213	7,313	83.4 %	+1.4 %
光学基本機器製品	2,496	2,594	2,439	27.8 %	▲6.0 %
自動応用製品	1,393	1,363	1,348	15.4 %	▲1.1 %
光学素子・薄膜製品	3,420	3,255	3,526	40.2 %	+8.3 %
システム製品事業	1,820	1,339	1,516	17.3 %	+13.2 %
光学システム製品	1,820	1,339	1,516	17.3 %	+13.2 %
消去	▲83	▲59	▲64	▲0.7 %	-
合計	9,047	8,493	8,765	100.0 %	+3.2 %

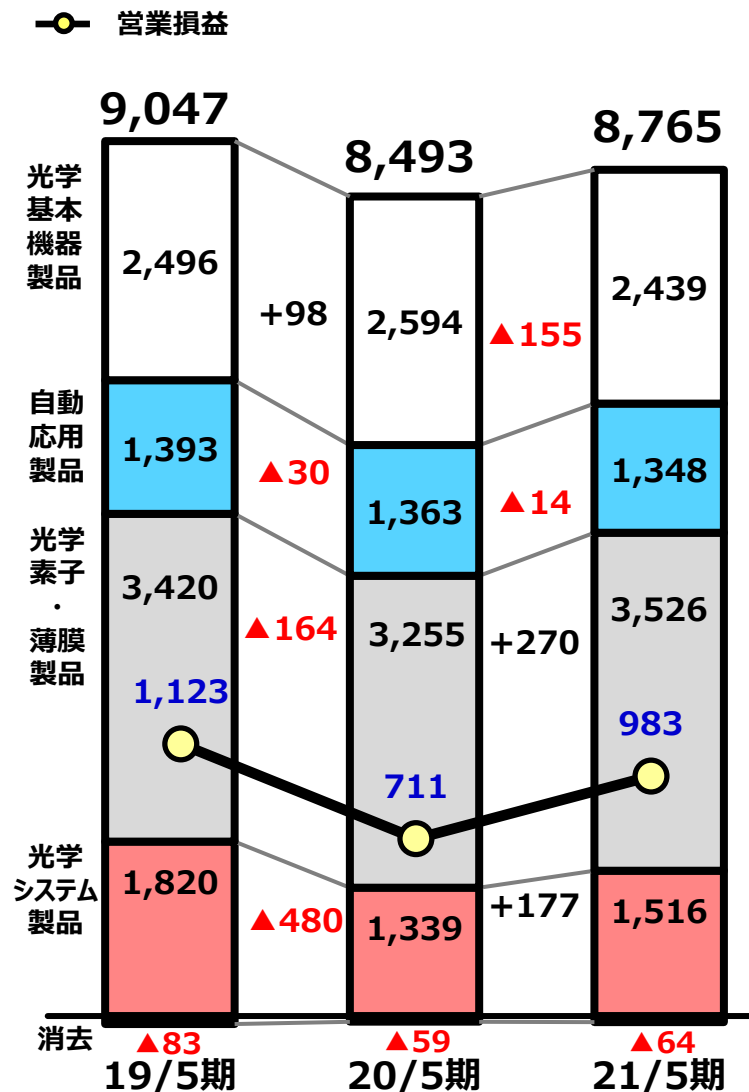
営業損益

【百万円未満切り捨て】

事業区分	19/5期	20/5期	21/5期	
	累計実績	累計実績	累計実績	前年同期比
要素部品事業	1,487	1,184	1,378	+16.3 %
システム製品事業	185	28	116	+305.8 %
消去	▲549	▲501	▲511	-
合計	1,123	711	983	+38.2 %

売上高

【百万円未満切り捨て】



3

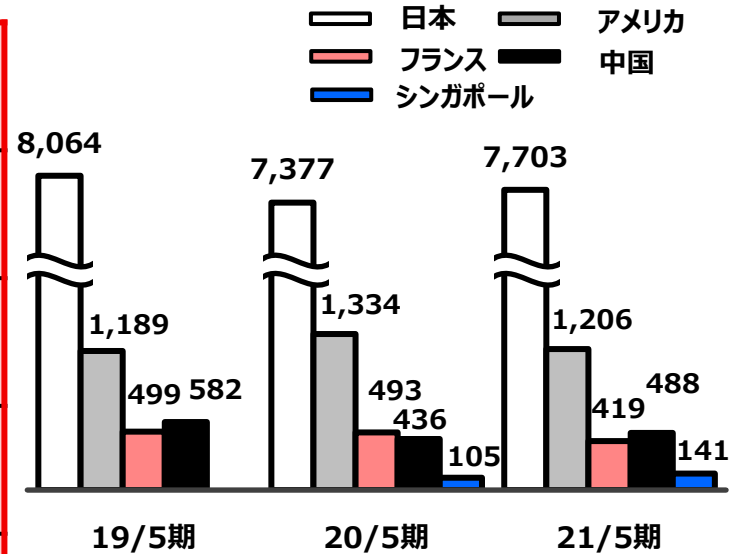
グループ所在地別売上高・営業損益(連結)



【百万円未満 切り捨て】	19/5期		20/5期		21/5期	
	売上高	営業損益	売上高	営業損益	売上高	営業損益
日本	8,064	1,405	7,377	1,081	7,703	1,348
アメリカ	1,189	73	1,334	53	1,206	46
フランス	499	8	493	▲10	419	▲29
中国	582	109	436	39	488	66
シンガポール	-	▲6	105	▲9	141	▲2
消去 又は全社	▲1,288	▲466	▲1,253	▲442	▲1,194	▲447
合計	9,047	1,123	8,493	711	8,765	983
平均為替レート						
1USドル		110.69円		109.10円		106.17円
1ユーロ		128.43円		121.14円		123.73円
1人民元		16.53円		15.66円		15.63円
1SGD		82.08円		79.47円		77.65円

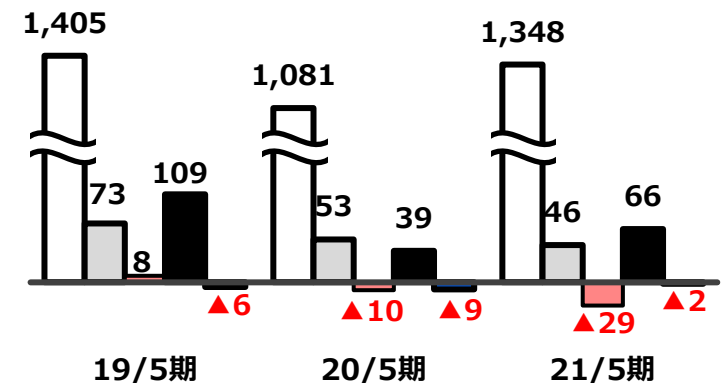
売上高

※消去額を除く
【百万円未満切り捨て】



営業損益

※消去額を除く
【百万円未満切り捨て】



期後半からアジア地域を中心に回復基調で推移。

北米地域・欧州地域の産業リピート案件及び産業・研究開発分野での新規受注が減少。
アジア地域は、FPD・半導体業界等を中心に回復基調で推移。

【百万円未満 切り捨て】	19/5期	20/5期	21/5期			サマリー
	累計実績 (構成比)	累計実績 (構成比)	累計実績	構成比	前年同期比	
売上高	9,047 (100.0%)	8,493 (100.0%)	8,765	100.0%	+3.2%	
海外売上高	2,626 (29.0%)	2,655 (31.3%)	2,663	30.4%	+0.3%	・新型コロナウイルス感染症の影響の中、 期後半から産業分野が回復基調で推移
アメリカ	986 (10.9%)	1,167 (13.7%)	993	11.3%	▲14.9%	・産業リピート案件及び新規受注減少
ヨーロッパ	468 (5.2%)	502 (5.9%)	443	5.1%	▲11.7%	・産業リピート案件及び新規受注減少
アジア・ オセアニア	1,133 (12.5%)	938 (11.0%)	1,177	13.4%	+25.5%	・FPD・半導体業界向け生産・検査装置の 組込み用途等が回復基調で推移
その他	39 (0.4%)	47 (0.6%)	48	0.6%	+3.0%	

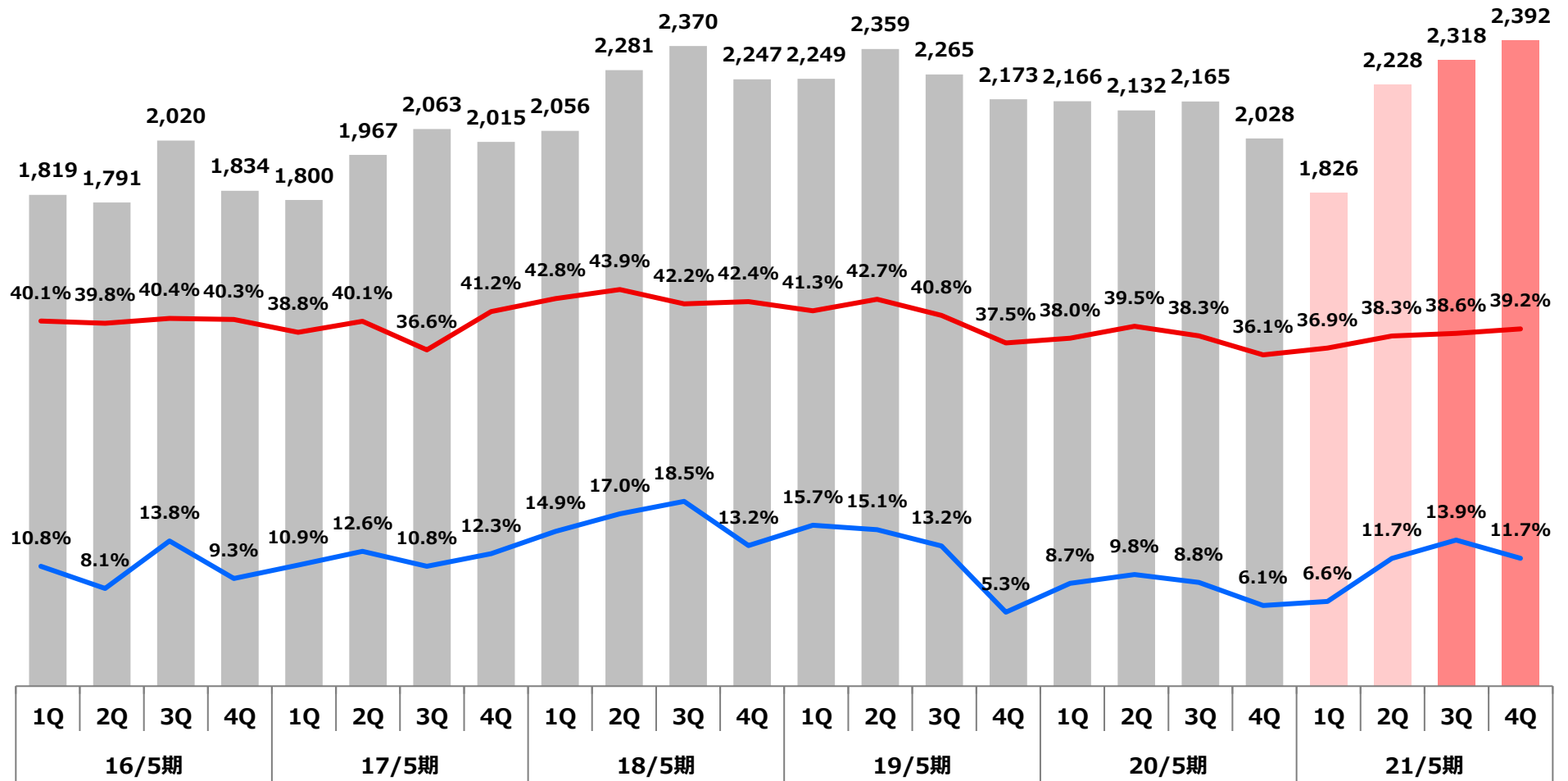
5

売上高・利益率推移（連結）



- 売上高
- 売上総利益率
- 営業利益率

【百万円未満切り捨て】



6 売上原価の状況(連結)

売上高原価率は前年同期比で0.3p改善。

製品ポートフォリオの改善により材料費等の構成比率が減少。
新工場棟の稼働開始など過年度の設備投資により減価償却費が増加。

【百万円未満 切り捨て】	19/5期		20/5期		21/5期			サマリー
	累計実績	構成比	累計実績	構成比	累計実績	構成比	前年同期比	
売上高	9,047	100.0 %	8,493	100.0 %	8,765	100.0 %	+3.2 %	
材料費等	3,320	36.7 %	3,242	38.2 %	3,283	37.5 %	+1.3 %	・ 産業分野向け需要が持ち直し、 製品ポートフォリオが改善 ・ 在庫評価損の減少
労務費	1,572	17.4 %	1,498	17.6 %	1,561	17.8 %	+4.2 %	・ 賞与の増加 ・ 需要持ち直しによる生産数量増加
減価償却費	222	2.5 %	251	3.0 %	263	3.0 %	+4.5 %	・ 過年度の設備投資による増加
その他	256	2.8 %	272	3.2 %	297	3.4 %	+9.4 %	
売上原価	5,371	59.4 %	5,265	62.0 %	5,406	61.7 %	+2.7 %	
売上総利益	3,675	40.6 %	3,227	38.0 %	3,359	38.3 %	+4.1 %	

販管費率は前年同期比で2.5pt改善。

新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、販売促進費・広告宣伝費・人件費が減少。
継続的な研究開発活動により、試験研究費は増加。

【百万円未満 切り捨て】	19/5期		20/5期		21/5期		前年同期比	サマリー
	累計実績	構成比	累計実績	構成比	累計実績	構成比		
売上高	9,047	100.0 %	8,493	100.0 %	8,765	100.0 %	+3.2 %	
販売促進費	419	4.6 %	394	4.6 %	347	4.0 %	▲11.8 %	
広告宣伝費	86	1.0 %	94	1.1 %	47	0.5 %	▲50.0 %	・ 海外展示会出展等の広告宣伝費が減少
人件費	1,060	11.7 %	1,022	12.0 %	996	11.4 %	▲2.5 %	・ オンライン活用により労働時間効率化
減価償却費	56	0.6 %	80	0.9 %	84	1.0 %	+5.5 %	・ ITシステム資産の供用開始に伴う増加
試験研究費	319	3.5 %	307	3.6 %	334	3.8 %	+9.1 %	・ 継続的な研究開発により増加
その他	610	6.7 %	617	7.3 %	565	6.5 %	▲8.4 %	
販売管理費	2,551	28.2 %	2,515	29.6 %	2,376	27.1 %	▲5.5 %	
営業利益	1,123	12.4 %	711	8.4 %	983	11.2 %	+38.2 %	

【百万円未満切り捨て】	19/5期	20/5期	21/5期		サマリー
	期末	期末	期末	前期末比	
現金・預金	2,407	3,350	3,113	▲7.1 %	
受取手形・売掛金	1,854	1,833	1,925	+5.0 %	
電子記録債権	708	655	567	▲13.5 %	
棚卸資産	2,591	2,355	2,271	▲3.6 %	
その他流動資産	1,326	798	2,325	+191.2 %	・ 有価証券(短期金銭信託)の増加
有形・無形固定資産	3,591	3,911	3,802	▲2.8 %	
投資等	3,277	3,247	3,229	▲0.6 %	
資産合計	15,757	16,152	17,235	+6.7 %	
支払手形・買掛金	483	474	497	+4.9 %	
電子記録債務	570	537	526	▲1.9 %	
短期借入金	180	246	276	+12.0 %	
その他流動負債	837	597	879	+47.2 %	・ 未払法人税等の増加
長期借入金	115	478	368	▲22.9 %	
その他固定負債	777	809	824	+1.8 %	
純資産合計	12,791	13,009	13,862	+6.6 %	
負債・純資産合計	15,757	16,152	17,235	+6.7 %	

【百万円未満切り捨て】	19/5期 通期累計	20/5期 通期累計	21/5期 通期累計	サマリー (当期中の増減額の要因)
営業活動	869	1,144	1,577	
投資活動	▲825	▲297	▲1,486	<ul style="list-style-type: none"> ・有価証券の取得による減少 ・有形固定資産の取得による減少
フリーキャッシュフロー	44	846	91	
財務活動	▲420	142	▲370	<ul style="list-style-type: none"> ・長期借入の返済による減少 ・配当金支払による減少
現金及び 現金同等物の期末残高	2,516	3,449	3,247	

目次

1. 2021年5月期 決算概要

執行役員 管理本部長兼経理部長 石井 康之

2. 2022年5月期 事業戦略 及び 通期見通し

執行役員 管理本部長兼経理部長 石井 康之

3. 2022年5月期 営業戦略

営業本部長 森 政之

4. 質疑応答

1 基本方針

◆スローガン

「アジアNo. 1」から

「世界No. 1」へ

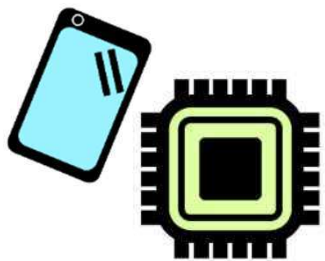
◆事業戦略 基本方針

- お客様満足度の最大化
- Q・C・D+R+Sを世界レベルへ
- 技術伝承・融合・総合力

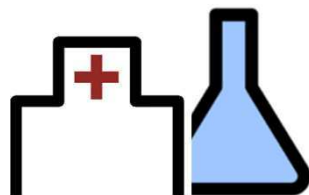
光技術のニーズは年々広がっています



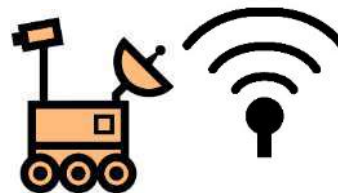
学術研究



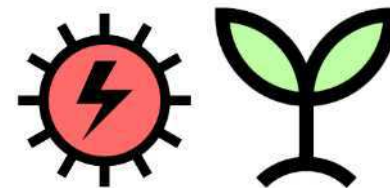
エレクトロニクス



ライフサイエンス



宇宙・天文・通信



エネルギー・農業等

シグマ光機の重点戦略

- ✓ 社会に必要とされる
新しいマーケット開拓
- ✓ 社内外連携加速
総合力に対応
- ✓ IT活用・社員育成
組織レベルアップ

社会に役立つ製品提供で社会に貢献します

3 2022年5月期通期計画(連結)



各国の政策対応及びワクチン接種等によって、世界経済は持ち直しの動き。

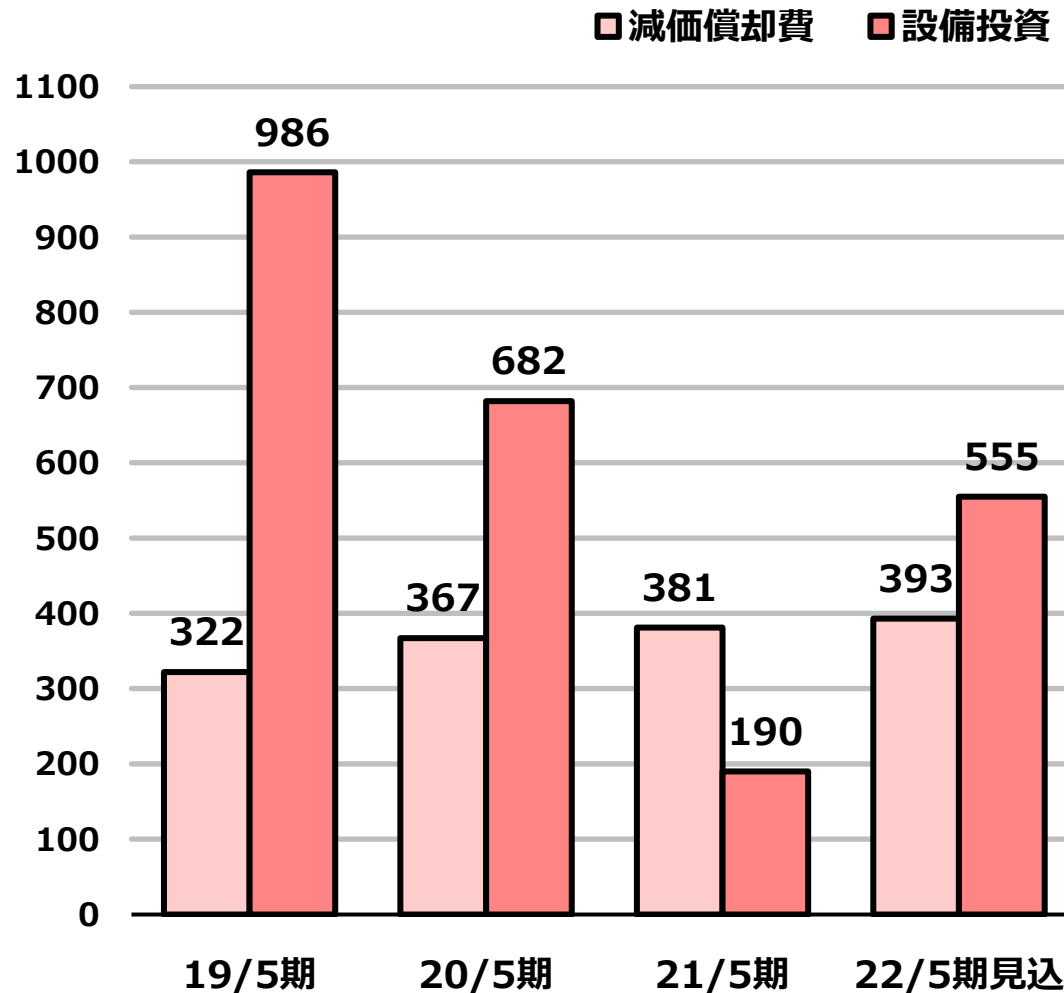
FPD・半導体等を中心とした一部の産業分野向け研究開発投資・設備投資に回復の兆し。海外展示会出展、お客様訪問など販促活動を強化。新技術・新製品向け研究開発を継続。

【百万円未満 切り捨て】	20/5期		21/5期		22/5期				通期増減 (前年同期比)	
	通期実績	構成比	通期実績	構成比	上期予算	下期予算	通期予算	構成比	差額	増減率
売上高	8,493	100.0 %	8,765	100.0 %	4,550	4,730	9,280	100.0 %	514	5.9 %
営業利益	711	8.4 %	983	11.2 %	515	575	1,090	11.7 %	106	10.8 %
経常利益	840	9.9 %	1,152	13.2 %	570	645	1,215	13.1 %	62	5.4 %
親会社株主に 帰属する 当期純利益	595	7.0 %	822	9.4 %	390	450	840	9.1 %	17	2.1 %
1株当り 当期純利益	84円10銭	-	116円15銭	-	55円06銭	-	118円60銭	-	-	-

当期通期見込みの算定は、為替レート(期中平均)として1USドル=107.00円、1ユーロ=129.00円、1人民元=16.50円、1SGD=80.00円で計算しております。

設備投資・減価償却費

【百万円未満切り捨て】



補足説明

◎ 主要設備投資

○ 19/5期

・日高新規工場棟建設	4.3億円
・光学素子設備増強投資	2.6億円
・オプトシグマヨーロッパ 新社屋購入	1.2億円
・情報システム投資	0.5億円
・オプトシグマ設備投資	0.3億円

○ 20/5期

・日高新規工場棟建設	5.1億円
・上海シグマ光機設備投資	0.3億円
・オプトシグマ設備投資	0.2億円
・オプトシグマヨーロッパ設備投資	0.2億円

○ 21/5期

・上海シグマ光機設備投資	0.9億円
・オプトシグマ設備投資	0.3億円

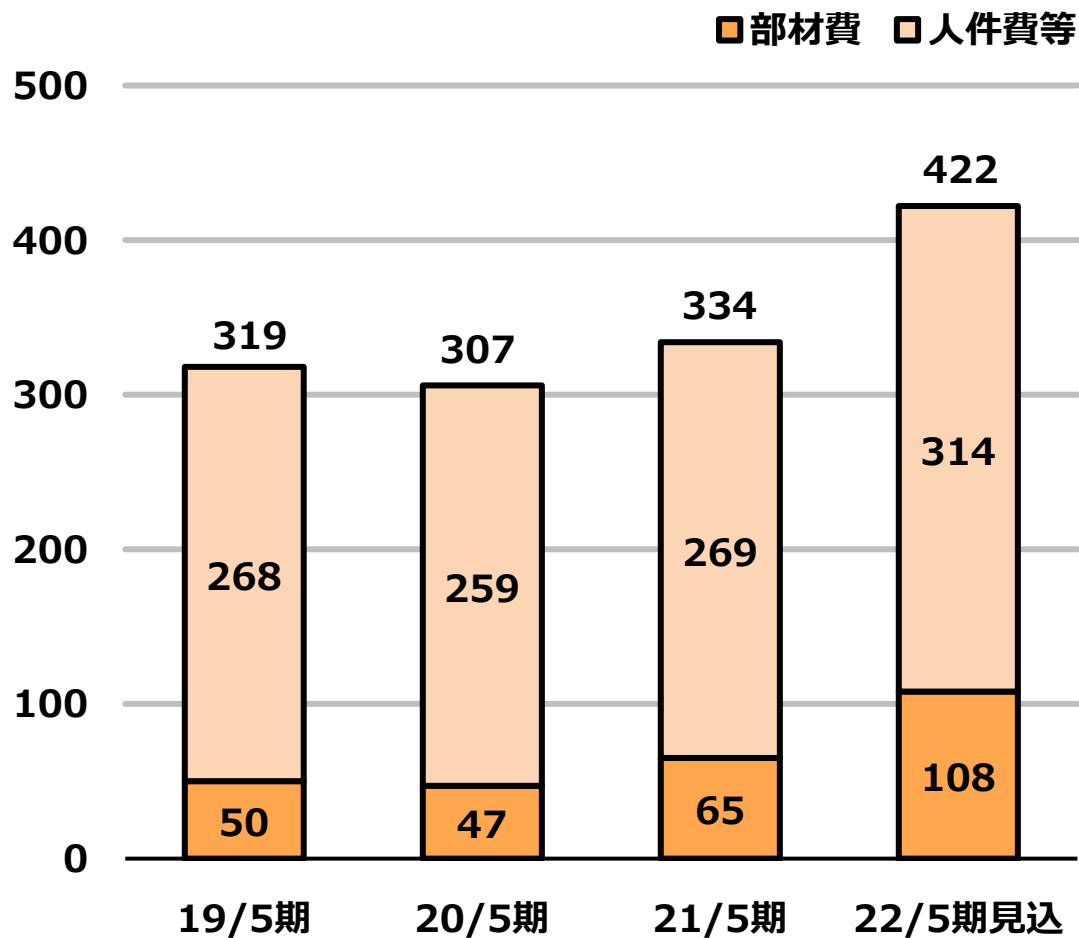
○ 22/5期見込

・光学素子設備投資	1.1億円
・基本機器設備投資	1.0億円
・技術開発設備投資	0.5億円
・情報システム投資	0.4億円

5 研究開発費見込み(連結)

研究開発費

【百万円未満切り捨て】



補足説明

【百万円未満切り捨て】

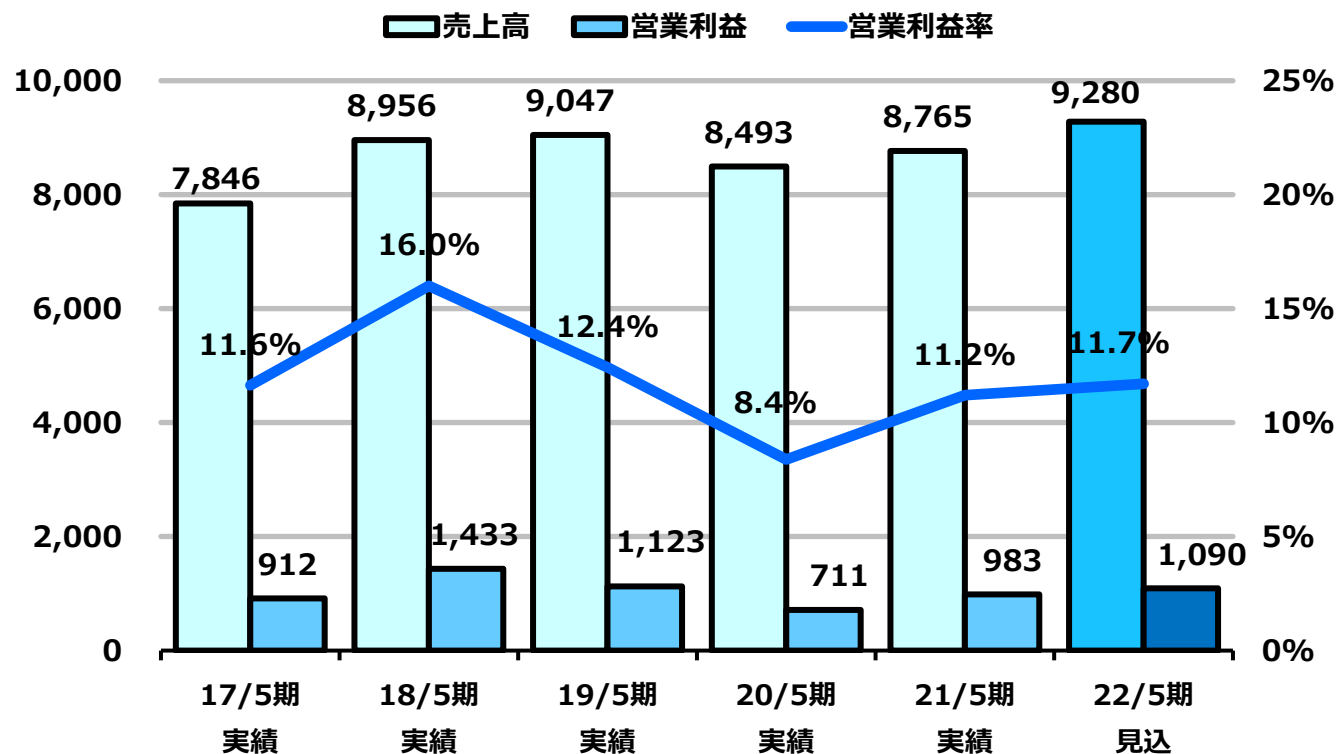
○部品費

	自社	産学官連携
19/5期	50	3
20/5期	47	22
21/5期	65	28
22/5期見込	108	16

○人件費等

	人件費等	研究開発費 (人件費等込) 売上高比率
19/5期	268	3.5%
20/5期	269	3.6%
21/5期	269	3.8%
22/5期見込	314	4.6%

【百万円未満切り捨て】



2022年5月期通期サマリー

- ①売上高は微増
- 一部の産業分野で持ち直しの動き
 - 将来有望成長分野の取り込み継続
- ②売上原価率は改善
- 製品ポートフォリオ改善による減少
 - 生産効率化・適正在庫管理等
- ③販売管理費は増加
- 海外展示会等の反動増
 - 旅費交通費等の反動増
 - 試験研究費は増加
- <販売展開の強化>
- オンラインによる販促活動の強化
 - 成長分野のリピート・OEMの取込み
 - 高付加価値光学モジュールの提案

* 強固な財務体質を堅持 (連結)

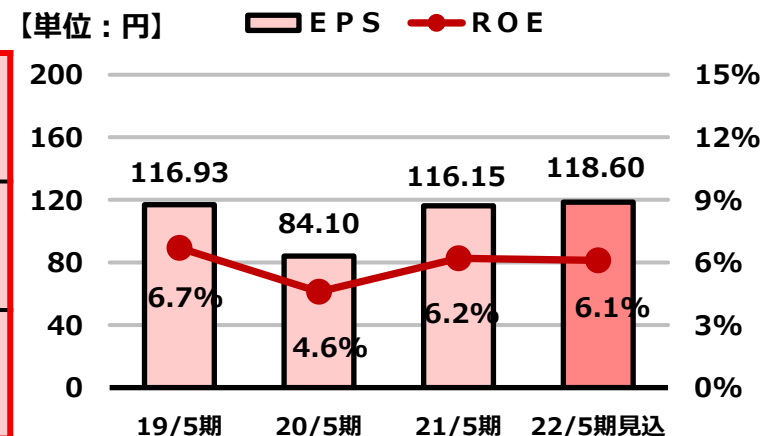
- ①自己資本比率 20/5期 : 80.2% → 21/5期 : 80.0%
- ②利益剰余金 20/5期 : 7,706百万円 → 21/5期 : 8,246百万円
- ③純有利子負債 20/5期 : ▲2,625百万円 → 21/5期 : ▲2,468百万円

7 収益性分析の概要



連結EPS・ROE

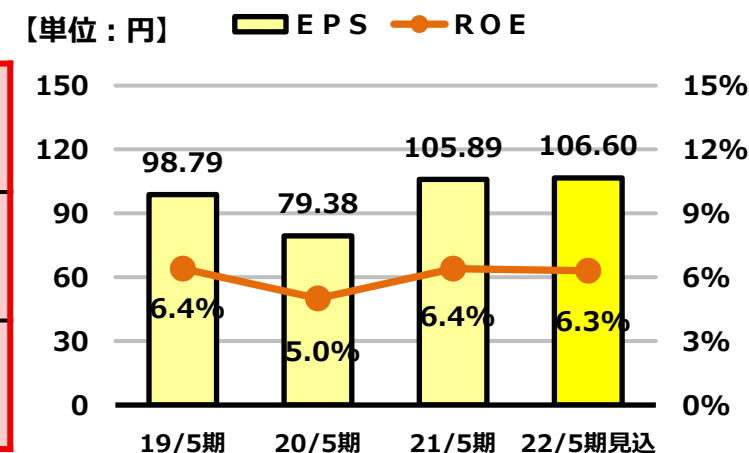
	19/5期 通期	20/5期 通期	21/5期 通期	22/5期 通期見込
親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	828	595	822	840
1株当たり 当期純利益 (円) (EPS)	116.93	84.10	116.15	118.60
自己資本 当期純利益率 (%) (ROE)	6.7	4.6	6.2	6.1(※)



※2021年5月期末の自己資本額を元に試算しております。

単体EPS・ROE

	19/5期 通期	20/5期 通期	21/5期 通期	22/5期 通期見込
当期純利益 (百万円)	699	562	749	755
1株当たり 当期純利益 (円) (EPS)	98.79	79.38	105.89	106.60
自己資本 当期純利益率 (%) (ROE)	6.4	5.0	6.4	6.3(※)

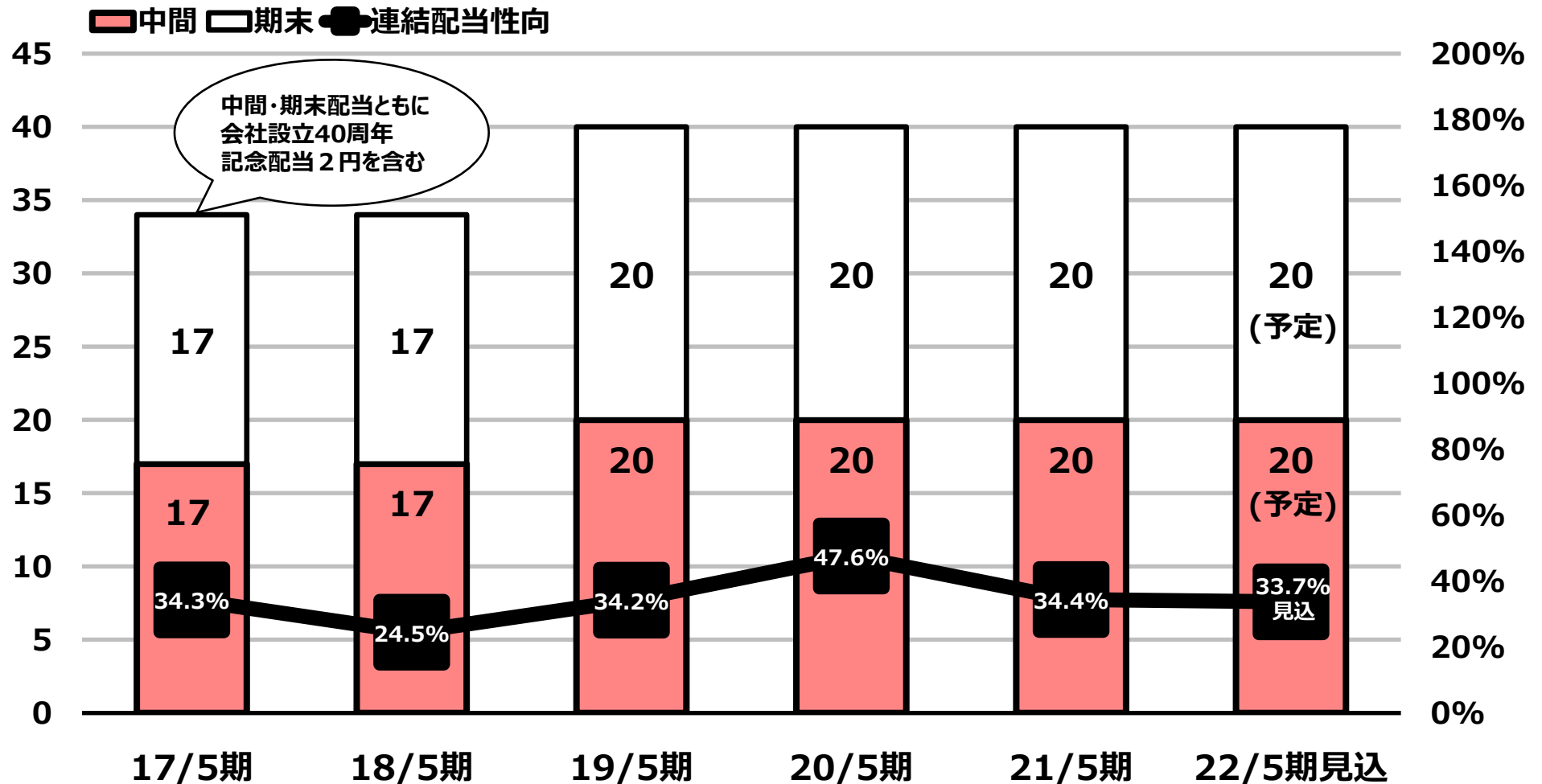


※2021年5月期末の自己資本額を元に試算しております。

継続的・安定的な配当を維持

【単位：円】

【単位：％】



目次

1. 2021年5月期 決算概要

執行役員 管理本部長兼経理部長 石井 康之

2. 2022年5月期 事業戦略 及び 通期見通し

執行役員 管理本部長兼経理部長 石井 康之

3. 2022年5月期 営業戦略

営業本部長 森 政之

4. 質疑応答

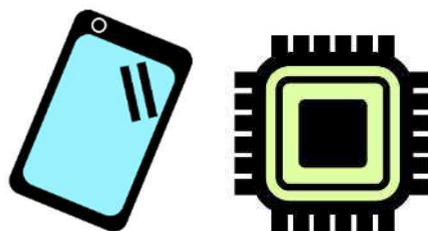
1 主要マーケット

国家PJ&研究機関



- 量子関連
- ナノスケール精度関連
- ハイパワー・特殊使用環境

スマートフォン&半導体



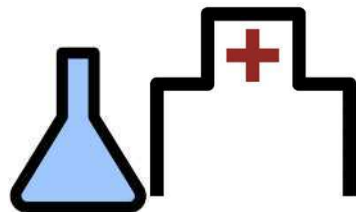
- 次世代装置(超微細加工等)
- AI&IoT
- OLED・次世代パネル

通信・車・センシング



- 5G用モジュール組立装置
- 次世代通信関連
- 自動運転用センシング関連

メディカルフォトンクス



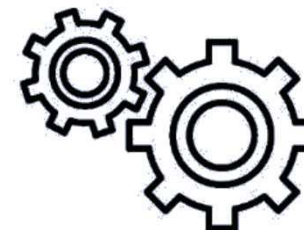
- 低侵襲治療・美容用途
- ポータブル化・遠隔治療
- 再生医療・バイオ観察

防衛・航空宇宙



- 宇宙探索
- 天文観察
- 海上・航空監視

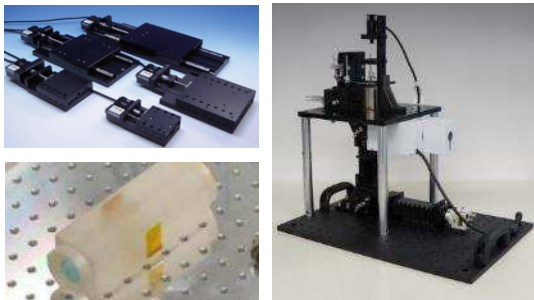
その他産業装置等



- 装置の多機能・高性能化
- 形状測定・微細加工・表面改質
- 省エネ・環境配慮
- AI&IoT

2 マーケットと主要製品

国家PJ&研究機関



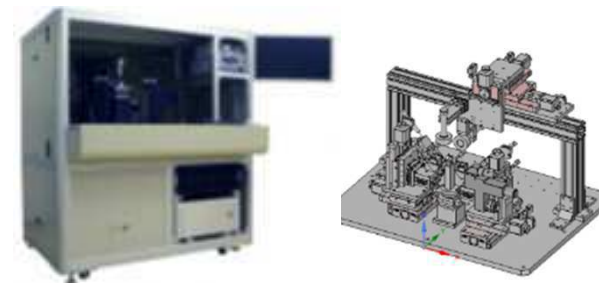
- ・ナノステージシステム
- ・コアユニット顕微鏡 / ケージシステム
- ・超高分解能光学ユニット
- ・超高安定ホルダ
- ・スーパーミラー等

スマートフォン&半導体



- ・レーザ加工機
- ・加工鏡筒 / 対物レンズ
- ・高耐久光学コンポーネント
- ・高分解光学ユニット
- ・自動ステージ等

通信・車・センシング



- ・ファイバー/導波路用自動調芯装置
- ・生産設備用光学ユニット
- ・光学モジュール等

メディカルフォトンクス



- ・医療用レーザシステム
- ・医療用光学システム
- ・分析用組込み製品
- ・バイオ用高精度自動ステージ

防衛・航空宇宙



- ・光学ユニット
- ・光学素子等

その他産業装置等

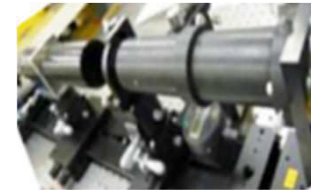


- ・ナノオーダー観察製品群
- ・X線イメージングユニット
- ・ソルダリング関連等
- ・分析用製品

3 第47期上期の概況

① 半導体向け設備組込製品、高精度光学ユニットの需要増

- ・高精度光学ユニットの需要が増加、新規OEM獲得
- ・半導体関連OEM案件が増加
2022年末まで需要増の見込み



② 通信デバイス向けシステム・ユニットの需要増

- ・次世代向け超高精度調芯装置を含む需要が増加
モジュールの量産に向け需要増の見込み



③ 医療向けレーザシステム・バイオフォトニクス用ユニットの需要増

- ・医療向け新PJが進行

④ スマートフォン・テレビ向け設備投資が継続

- ・生産設備用対物レンズを使用する一部のお客様は、
LCD製造ラインを2022年末まで延長、第47期以降も
順次出荷予定
- ・新しい生産プロセス用に製品バリエーションを拡大



⑤ 防衛/航空宇宙関連向け光学ユニット・光学素子案件は継続

4 海外マーケット概況

■ アジア地域（中国・韓国・台湾・シンガポール）

- ・中国を中心にした生産設備組込み用製品の需要増と受注増加
- ・コラボレーションによる自動調芯装置・超高分解能観察ユニット等の受注増加
- ・大学・研究所向け高難易度チャレンジ案件の受注実績増

■ 北米・南米地域

- ・新CEO効果による東海岸エリアの開拓着手
- ・国家PJ、航空宇宙分野等の高難易度チャレンジ案件の受注増加
- ・バイオメディカル・バイオフォトニクス用光学ユニットの受注継続
- ・COVID-19の影響は徐々に回復

■ EU圏

- ・大学・研究所向け大口・高難易度チャレンジ案件の受注フォロー中
- ・OSEドイツ支社の開設効果で、大型PJ・新規顧客を開拓中
- ・COVID-19の影響は徐々に回復

① OEM・ODM案件創出

② チャレンジ案件(オンリーワン製品)獲得

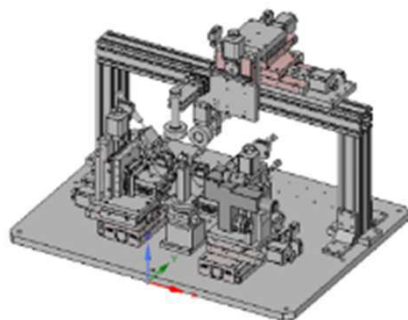
③ 新規潜在顧客層開拓

④ お客様満足度向上

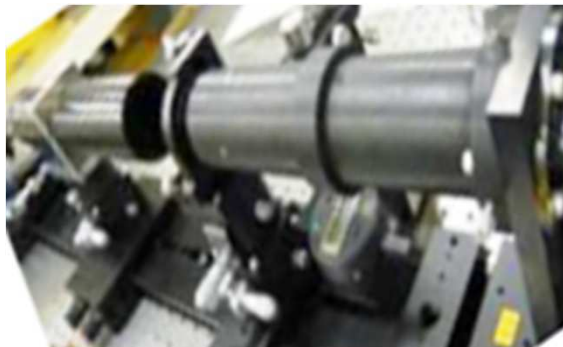
⑤ 魅力的な新製品投入・ラインナップ強化

5 ① OEM・ODM案件創出

- 生産設備・検査設備組込み用途案件を中心に創出。
特注対応力・応用例・動画を活用、基礎実験等を
技術部門・生産部門と連携、OEM・ODM案件を創出



■ 国内・海外から当社技術力へ期待した 国家PJ入札含む高難易度案件を具現化



高精度光学ユニット

設計技術
製造技術
評価技術

生産設備用OEM製品
として、国内・海外含め
新規受注・出荷対応中



高精度オプティカル・キャビティ

スーパーミラー
接合技術
組立技術

量子関連等、先端研究分野、
海外含め、問い合わせ・受注
増加中

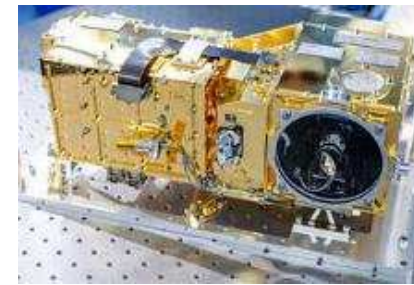


Image Credit:
LESIA Observatoire de Paris PSL

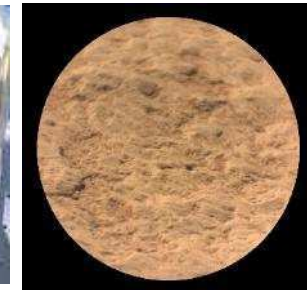


Image Credit:
NASA/JPL-Caltech/LANL/CNES/CNRS

NASA/CNES 「Mars2020計画」

火星探査機搭載

SuperCam検出器用光学素子

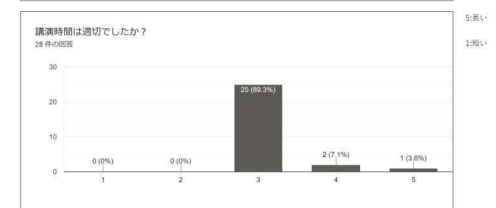
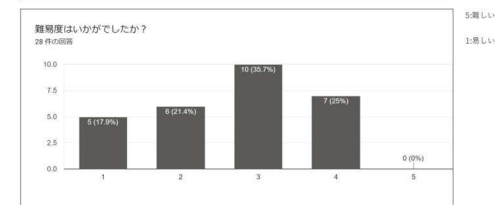
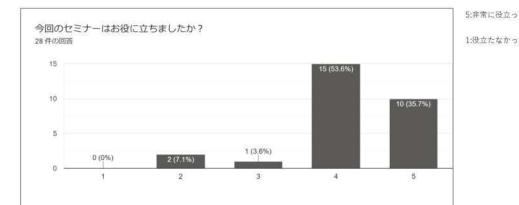
2021/2/18着陸 火星でのミッション開始
※各国から天文・航空宇宙向け案件
の引き合いと受注増加

5 ③新規潜在顧客層開拓

■オンラインセミナー開催（2020/7より**継続**）

製造現場等に必要な製品、問題解決の一助となる、解り易く役に立つセミナー
参加者より高い満足度評価

1回/月 開催



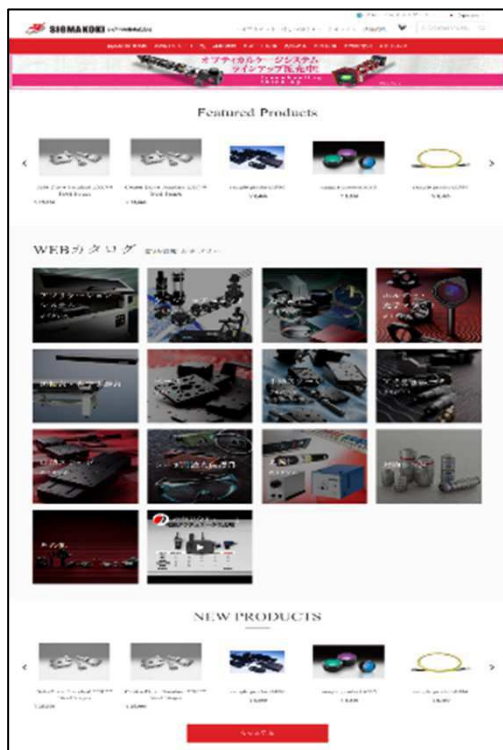
■オンラインプライベート展示会・製品選定サポート等
オンラインと直接訪問のハイブリッドで対応
お客様に合った内容・方法

➡ お客様満足度向上・新規案件獲得

2021/6/14 Webリニューアル

- お客様が使い易いWebに切り替え
用途・仕様からの絞り込みを強化、迷わない製品選定を可能に

➔ **お客様満足度向上・新規顧客獲得**



PC画面



閲覧する端末によって自動調整を行う
レスポンシブル対応

■ 研究用途製品



MD-400 :
研究者が求める操作感に拘ったコンソール

■ 生産設備用製品



OUCI-3/OUCI-3(NIR) :
半導体検査装置等に使用する観察鏡筒



VPDM-シリーズ :
真空中でも20nm以下の分解能を実現



SLCFUシリーズ :
紫外から赤外まで
広い波長帯域で使用可能



MHXシリーズ :
高安定ミラーホルダーを
ラインナップ強化

最先端研究・生産設備に必要な製品をラインナップ強化中

目次

1. 2021年5月期 決算概要

執行役員 管理本部長兼経理部長 石井 康之

2. 2022年5月期 事業戦略 及び 通期見通し

執行役員 管理本部長兼経理部長 石井 康之

3. 2022年5月期 営業戦略

営業本部長 森 政之

4. 質疑応答

ご清聴ありがとうございました。

本説明会にて提供させていただいた情報および本資料内に記載されている当社グループに関する業績予想、方針、経営戦略、目標等に関しては、現時点で入手可能な情報に基づき作成しております。

よって、今後様々な要因により将来の見通しに関する記載事項や予想数値等が変化することが考えられます。すなわちこれら記載事項や予想数値等はその性質上、将来そのとおりに実現するという保証は致しかねますのでご留意ください。